

芸術総監督おすすめコメント

鋼鉄フェスの回数を重ねる中でANTHEM(アンセム)を招聘する事はかなり前から考えていました。日本のヘヴィメタル(以下HM)をテーマに据え、「どのバンドを?」とその歴史を振り返りながら熟考した結果がANTHEMでした。『ANTHEMの歴史が日本のHMの歴史であり、また未来なのだ』と結論づけました。実現に向け柴田さんと何度もお会いして話しました。柴田さんの言葉から、ご自身が背負っているのはANTHEMであり、日本のHMであり、またその音楽を愛するファンであることをひしひしと感じ、出した結論に間違いのない事を確信しました。東海市は“鉄のまち”であり、この難しい状況下でも対処し、闘うスピリッツに溢れています。この日同じスピリッツに溢れるANTHEM、そして、その音楽を愛する人たちの雄姿が見られると思うと楽しみでなりません。

東海市芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也

トークセッション



©Mikio Ariga

柴田直人 (ANTHEM)

北海道北見市出身。日本大学芸術学部放送学科を卒業。日本のヘヴィ・メタルを代表するバンドANTHEMのベーシストであり、リーダー、メインソングライターである。また、これまで様々なプロジェクトにも関わるなど、他のミュージシャンからの信頼も厚い。また、著書として「柴田直人 自伝」があり、生い立ちからANTHEM再結成(2001年)が書かれているが、今回のトークでは更にその後が語られるのも楽しみである。



広瀬和生 (BURRN! 編集長)

世界屈指のヘヴィ・メタル専門誌「BURRN!」の編集長。東京大学工学部卒の落語評論家でもある。アーティスト、バンドに対する視点は常に鋭く多くのファンから支持を得ている。この鋼鉄フェスにもVol.1から企画段階から関わり出演もしているが、今回は特に長きに渡り固い信頼関係にあるANTHEM!リーダーの柴田とのトークに要注目だ。

ライブ



©Mikio Ariga

ANTHEM



2020年にデビュー35周年を迎えたANTHEMは、1981年結成以来、一時は解散したものの復活し、リーダー柴田直人のもと常にHEAVY METALシーンの頂点に君臨し、また、道を切り拓いてきた。現在までに17枚のスタジオ・アルバムをリリースし、精力的にツアーも継続してきている。2013年にヴォーカルが坂本英三から森川之雄に、また田丸勇をドラムに迎え、ANTHEM史上最強と評される、柴田直人(Bs)・清水昭男(Gt)・森川之雄(Vo)・田丸勇(Ds)という布陣となった。その後ANTHEMは海外レーベルと契約を結び、国内のみならず海外からのライブ・オファーも増え続けている。2020年、21年はデビューと結成のアニバーサリー・イヤーを迎える特別な年となるが、特筆すべきは、結成以来、そして今なお、更に驚異的な力でHEAVY METALシーンを最前線で牽引し続けている事である!!

劇場インフォメーション

忘れない、東日本大震災から10年
新日本フィルハーモニー交響楽団 “思う心のコンサート”



©Shumpei Ohtsugi

2021年3月6日(土) 16:00開演 東海市芸術劇場 大ホール
全席指定 一般 ¥5,500 小中高生 ¥1,000 ※未就学児入場不可
ユウナリアルフレンドメンバーズプラチナ会員割引価格 [一般 ¥4,950 小中高生 ¥900]
出演:クリスティアン・アルミンク(指揮)、崔文洙(ヴァイオリン独奏)
新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
東海市子どものオーケストラ(フレコンサート)※開演前)
プログラム: マーラー/“アダージェット”(交響曲第5番より第4楽章)、
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲ニ長調、ブラームス/交響曲第1番ハ短調Op.68
チケット発売日: [先行]11月28日(土) [一般]12月5日(土)

東海市芸術劇場
バンドスタジオ貸出のご案内

東海市芸術劇場では、ドラムセット、キーボード、ギター・ベースアンプ、ミキサーが備わったバンドスタジオ2部屋を貸出しています。是非ご利用ください!



使用料	利用時間
1時間につき710円~	9:00~22:00
■申込受付 劇場窓口(9:00~20:00) インターネット(あいち共同利用型施設予約システム) ※初回のみ、劇場窓口にて手続きが必要です。	
■申込受付期間 利用日の属する月の6か月前の初日~利用日まで 詳しくは芸術劇場事務局またはお電話にてお問合せください。	